

各位

伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社

防災食で「フードバンク」活動を支援“CSR”

伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社（本社：東京都中央区 代表取締役社長 深城 浩二）は2017年1月12日に、防災食をセカンドハーベスト・ジャパン（NPO法人）に寄贈しましたのでお知らせいたします。

当社は昨年度、災害時の備蓄食料である保存水・非常食を寄贈をしましたが、今年度も引き続き、備蓄用パン5,928食分を、セカンドハーベスト・ジャパンへ寄贈しました。

セカンドハーベスト・ジャパンは「フードバンク活動」等を行っており、この活動によって寄贈食品は、食べ物を必要とする福祉施設等へ届けられます。また、食品ロスの削減、施設の食費節約等が実現できる社会福祉活動です。

当社では、今後もCSRの取り組みとして、このような社会貢献活動へ積極的に参加してまいります。



備蓄用パン（イメージ）



寄贈品の積荷

セカンドハーベスト・ジャパンとは・・・

「すでに収穫された畑から二度目の収穫をする」という考え方から、「もったいない」を「ありがとう」へ。市場に出すことはできなくとも、人々が消費するには十分な安全性をもった食品を捨てずに活かす代替案「フードバンク」活動等を行っています。

※賞味期限を過ぎたものは一切取扱いされません。

（セカンドハーベスト・ジャパンのホームページより抜粋）

本ニュースリリースに関するお問い合わせ先

伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社 経営企画部

TEL 03-3662-5120 担当：五十嵐・斉藤